

平成24年度「おかやま森づくり県民税」事業実績について

県民共有の財産である森林の持つ公益的機能を持続的に発揮させるため、「おかやま森づくり県民税」により実施した森林保全事業の実績を報告する。

なお、本年度は、「森林の保全に係る県民税の特例に関する条例」で定める課税期間の最終年度となることから、岡山県税制懇話会を開催し、各事業の効果の検証や制度の見直しについて検討する。

1 施策の基本方針

- (1) 水源のかん養、地球温暖化防止などの森林の持つ公益的機能を高める森づくり
- (2) 森林整備を推進するための担い手の確保と木材の利用促進
- (3) 森林・林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進

2 事業の成果

(1) 水源のかん養、地球温暖化防止などの森林の持つ公益的機能を高める森づくり
(433,003千円)

ア 健全な人工林の整備 (329,941千円)

健全で活力ある森林を育成するため、間伐の実施、作業道の開設、間伐材の搬出などの支援を行った。

・奥地林等の間伐	2,933 ha
・森づくり作業道の開設、補修	51,083 m
・スギ間伐材の搬出	10,157 m ³



間伐作業

イ 多様な森づくり (85,965千円)

荒廃した里山林、松くい虫被害林等の再生、地域の実情・課題に対応した森林保全の取組を支援した。

・荒廃した里山林の再生	6 ha
・松くい虫被害林の再生	
被害林整備	144 ha
伐倒・薬剤処理	1,215 m ³
危険木の除去	3,116 m ³
・ナラ枯れ被害拡大防止	
広葉樹利用促進	986 m ³
・市町村提案型森づくり事業	
松くい虫被害木の除去	442 m ³
松くい虫被害の予防(樹幹注入等)	1,524 本
間伐用林業機械の導入	3 台
林地残材の搬出	5,054 t
市民参加による森づくり活動	33 団体



松くい虫被害木の処理

(2) 森林整備を推進するための担い手の確保と木材の利用促進 (133,477千円)

ア 林業労働者の就労条件の整備、若い担い手の育成 (40,287千円)

森林の整備を適正かつ持続的に推進するため、林業に必要な知識や技能を有する人材を育成した。

- ・新規就業者の現場研修経費の助成 19 事業体 (12人)
- ・新規就業者の研修の場の提供 22 箇所 (152ha)
- ・安全作業のための装備、器具の助成 23 事業体 (344人)



新規就業者の現場研修

イ 木材の利用促進 (93,190千円)

森林の適正な整備や地球温暖化防止に貢献するため、県産材・木質バイオマスの幅広い利活用を促進した。

- ・公共施設の内外装木質化等の助成 36件(78m³)
- ・小学校への学習机・椅子の導入 18校(416組:10m³)
- ・県産木製品、木質バイオマス燃料等の展示PR 1 回
- ・公共建築物の木造化計画作成の助成 2 件
- ・県産材製品の販路拡大を支援 1 団体
- ・未利用木質系バイオマスの利活用研究・開発を支援 11 件
- ・高校生提案によるUDに配慮した学校の居室整備 1 校(8m³)



県産材製の机・椅子

(3) 森林・林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進 (25,970千円)

ア 県民への情報提供等 (4,570千円)

森林の働きや林業の役割、おかやま森づくり県民税を活用した取組などについて、県民に情報を発信した。

- ・森林・林業を考えるシンポジウムの開催 2 回
- ・新聞による広報 3 回
- ・パンフレット、チラシの配布 26,000 部
- ・街頭での広報活動 21 回
- ・地域で開催されるイベントでのPR 9 回



街頭でのPR活動

イ 森づくりのための人材養成及び県民の直接参加による森づくり (21,400千円)

森林ボランティアグループ等の自主的な取組を促進するため、森づくりサポートセンターの活動や指導者の養成、企業等による森づくり活動への支援を行った。

- ・森づくりサポートセンターの設立支援 1 団体
- ・植樹、保育のつどい等の開催支援 87回 延べ2,854 人
- ・森づくり指導者の養成 延べ 50 人
- ・企業と市町村との森林保全協定の締結 1 企業
- ・二酸化炭素森林吸収評価認証書の交付 5 企業・団体
- ・みどりの大会の開催 1 回 400 人



保育のつどい

県民税充当額合計 592,449千円